

スローガン

1回のピッキング動作で
2本弦を無駄なく鳴らそう!

LEVEL ★★☆☆

左手	右手

準備運動 アップから弾き始めて、続くダウン→ダウンのスウィープでリズムがハシらないように注意!

J=130

本番練習 テンポが速い上にストレッチを含んでいるが、各音を的確に鳴らすように心掛けよう!

J=160 TRACK 31

整理運動 ポジションが1小節ごとになる。ここではピッキングのテンポ・キープに集中しよう。

J=130

円運動はダメ!? スウィープは直線的に弾くべし

このような2本弦フレーズは、テンポによってはスウィープではなくオルタネイトでも弾くことができる。しかし、2つの奏法はニュアンスが大きく異なるため、両方を身につけておくことで、ギターの実現力をさらに上げることができる。ギタリストによっては「サークル・ピッキング」を使用している人もいるが、筆者はピックを弦に並行気味に当てて、直線的なアップ動作で2弦の上にピックを移動し、右手親指の関節を屈伸運動のように伸ばして、2弦と1弦をダウンで鳴らすという弾き方をしている(図)。このように弾くことによってアタック感をつけることができ、音抜けが良いサウンドを生み出すことができるのだ。

図 スウィープのピッキング軌道

<p>× サークル・ピッキング</p> <p>弦に対するピックの角度が不安定。擦るようなピッキングのためノイズが多い。</p>	<p>○ 直線的なピッキング</p> <p>アタックが強く、クリアな音を得られる。ピックがズレることも少ない。</p>
---	---

スローガン

6音を1セットにして
3本弦を滑らかに弾き分けよう

LEVEL ★★☆☆

左手	右手

準備運動 3本弦スウィープの基礎練習。6音で1つの区切りとなっている。

J=120

本番練習 1拍ごとにポジションが変わるので、フィンガリングを確認しながら、ゆっくり練習しよう。

J=140 TRACK 32

整理運動 6連符の間に16分音符を入れることで、緩急を付けている。スリリング感を演出せよ!

J=120

スウィープの始点となるプリングのリズムに注意!

3本弦スウィープと言えば、やはりリングウェイだろう。彼は、まずピックを若干引っ掛け気味にして、1弦を強めのアップで弾き、ピッキングと同じぐらいの音量でプリングを鳴らしている。続く2弦のアップ・ピッキングもタメが利いていて、さらに上昇ダウン・スウィープは3弦の少し上から右手親指の屈伸運動を使って、ピックを振り下ろすように弾いているのだ。ビギナーは、出だしのプリングと2弦アップで、リズムがハシってしまうことが多いので注意してほしい(図)。また、左手のセーハ部分で音が濁りやすいので、右手を使ってブリッジ側でも少しミュートを掛けてみると、音の分離が良くなるだろう。

図 スウィープでのリズムの注意

・本番練習1小節目1&2拍目

リズムをタメられず、ハシってしまうことが多いので注意しよう。